

論文審査の要旨
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博士 (国際協力学)	氏名 Author	SHREE KUMAR MAHARJAN
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論文題目 Title of Dissertation Factors Affecting Climate Change Adaptation in Agriculture in Central and Western Tarai of Nepal			
論文審査担当者 Dissertation Committee Member			
主査 Committee Chair	Maharjan, Keshav Lall	広島大学大学院国際協力研究科 教授	印 Seal
審査委員 Committee	市橋 勝	広島大学大学院国際協力研究科 教授	
審査委員 Committee	藤原 章正	広島大学大学院国際協力研究科 教授	
審査委員 Committee	熊原 康博	広島大学大学院教育学研究科 准教授	
審査委員 Committee	河合 明宣	放送大学教養学部 特任教授	
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本論文で、ネパールの中部及び西部タライ地方の農業における気候変動への適応戦略に及ぼす要因に着目し、気候変動リスク及び脆弱性に関する国家レベルから地域レベルにおける気候変動対策戦略・適応計画を吟味し設定されている研究課題は適切である。それを踏まえ、タライにおける気候変動に対して脆弱な農村を研究対象とし、現地調査によって世帯レベルの実証的研究を進め、定量及び定性分析をまじえた総合分析は評価できる。</p> <p>本論文は9章から構成され、以下のようになっている。 序章：研究の背景、課題と制約 第2章：先行研究のレビュー 第3章：研究概念、課題、分析のフレームワーク、方法論の説明 第4章：ネパールにおける気候変動に関する政策、適応戦略及びその実施における要因の分析 第5章：調査地における気候に起因する脆弱性に関する参加型評価の分析 第6章：地域レベルにおける気候変動への適応行動に地域住民の認識とその影響に関する分析 第7章：農家レベルにおける環境適応行動の分析 終章：結論 補論：学校教育におけるICT導入の教授・学習効果：ネパールとミャンマーの比較分析 (たおやかオンサイトチームプロジェクト)</p> <p>その内容、1) 農業分野における気候変動への適応戦略に関する研究状況をシステマティック・レビューによって文献の分析を行い、研究の詳細な課題を設定していること、2) ネパールにおいて国家レベル及び地域レベルにおける気候変動対策戦略・適応計画についてデルファイ法を用いて詳細に分析していること、3) 調査地域における気候変動に起因する農業・農民の脆弱性を最近30年間における気候データに加え世帯の標本調査、参加型調査によって詳細に把握し、農村におけるその影響を分析していること、4) パワーシフトの概念に基づき、地域住民の気候変動に対する認識や適応行動を取り入れて、地域レベルの気候変動に対する対策戦略・適応計画を策定していることを明らかにしたこと、5) 一次資料を用いた線形確率モデル分析によって、作付けの多様性、農地面積、教育などの要因が農家レベルにおける気候変動への適応行動に有意な影響を及ぼしていることを明確にしたこと、6) これらの研究は査読付学術論文10本、内SCI論文2本、ESCI論文3本、国際学会口頭発表8本、外として公表されていること、7) 以上の研究を踏まえ、同問題の理解を深め、ネパールにおける気候変動の影響を緩和するため、政策メカニズムの制度化に必要な能力開発、資源活用の重要性を訴え、研究成果を先駆的に政策提案していること等は高く評価された。</p> <p>以上の結果、試験委員全員一致で、申請者が博士(国際協力学)の学位を授与されるに十分な学識と能力を有しているものと認め、合格と判定した。</p>			